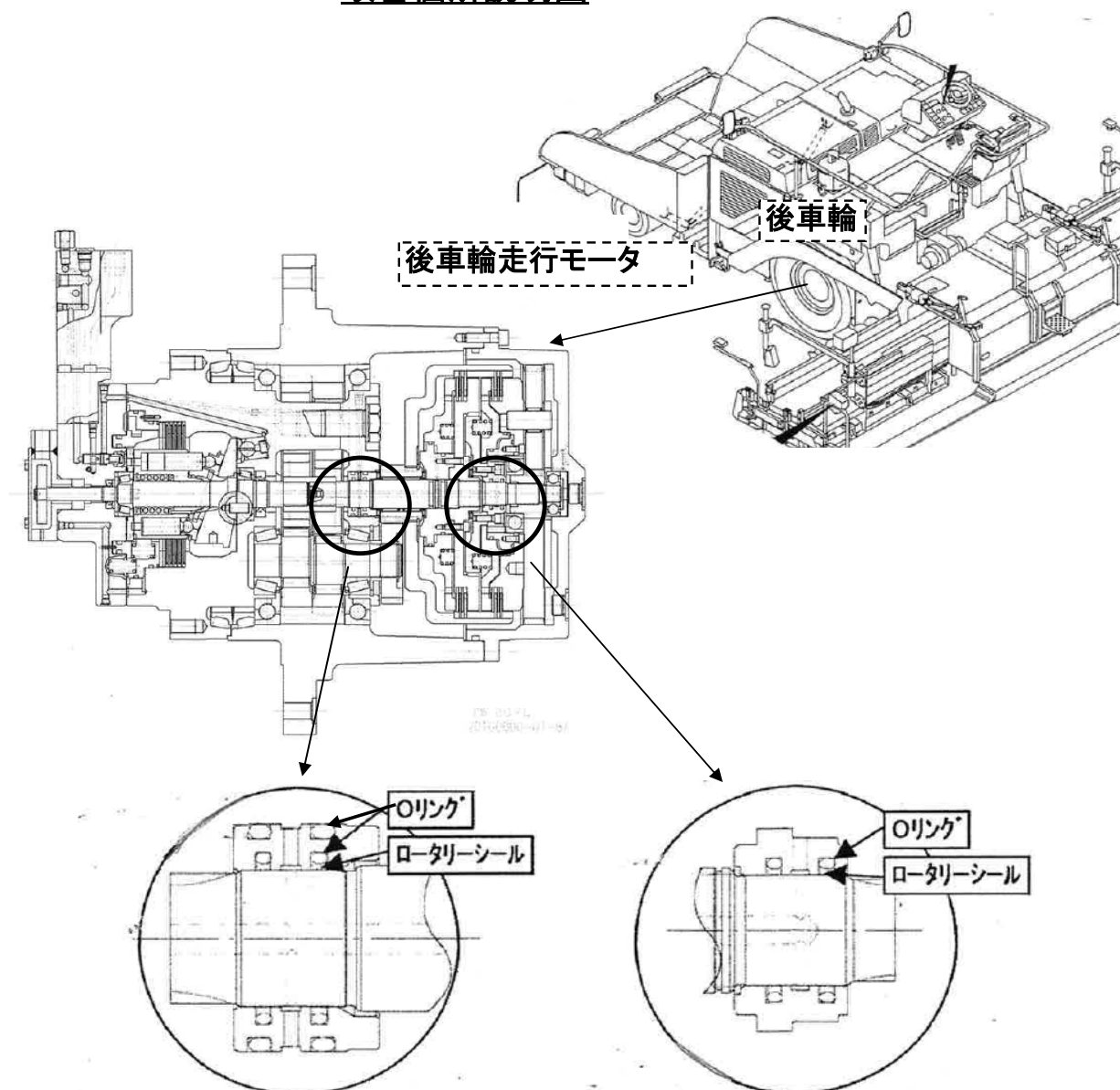


改善箇所説明図



基準不適合箇所

後車輪内の走行モータ減速機において、駆動軸のロータリーシールの耐熱性が不足しているため、高速で連続走行を行い減速機内部が高温となった場合、シール性能が低下するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、高速走行時にクラッチ作動油が減速機内に流入し、減速機内部の圧力が上昇して、低速及び高速の両クラッチが接続状態になり、走行中に後車輪がロックするおそれがある。

【改善内容】

- ①全車両、走行モータの制御プログラムを変更し、最高走行速度をシール性能を損なわない速度まで低減する。
- ②全車両、走行モータ減速機内シール類を耐熱性の高い対策品に交換する。
尚、②については対策品の準備に時間を要するため、暫定対策として、許容連続走行時間の徹底を文書にて配付、依頼する。

注: 内は交換部品を示す

識別: 対策完了車両は後車輪走行モータ外側表面中央部に白ペイントにてマーキングをする。